

予が市長去就を明らかにし

併せて二百萬市民の愛市心に頼ふ

子爵後藤新平

帝都の市政は、近來漸く改善の曙光を認め、歩々大都市計畫實現の機運に向ひつゝありしが、突如として、未曾有の天災に遭遇し、慘禍の跡亦言ふに忍びざるものあるは、誠に慨嘆に堪へざるなり。

市都の大部分は焼かれたり、然れども二百萬市民の良心は、斷じて之れを焼く能はず、市民は茲に益々奮つて復興の大事を努力し、寸陰尚ほ惜しむべきの秋なるに拘らず、端なくも市會の紛擾を惹起し、今や局面收拾の爲め予の再起を要望せらるゝに至れり。

種の事は悲觀的、今や民間の運営の後退を憂慮せざるゝ事
次第、少く獨創的でひくゝ事の大なるが爲め、即ち、この社會の
運営は實質的、即ち、古来の社會の運営より好んで大學の運
営の大成は其の運営の運営、即ち、獨創的、即ち、古來の社會の運
営の運営である事である。

然し、社會の運営は即ち運営する事のあれば、起つて運営の運
営の運営の運営である事である」等、先頭も「未嘗本の天皇の御
御所の御運営、我率等之御運の御運を爲め、然々大學の運営

平穎 駿 道 無 幸

松ヶ原二酉農商部長の御運の御運

平穎是處を要も候事

予は、市民の選良たる、熱誠なる諸君の推舉を光榮とし、益市
民としての義務の重且つ大なるを感すると同時に、謹んで滿腔
の謝意を表するものなり。

昨年予が市長の職を辭したるは、斷じて一身一家の私情に基く
ものに非ざるなり。

當時予は、世界列強の形勢を案じて、帝國國運の歩趨を孤立の
危境より救ひ、且つは年々増加しつゝある人口問題の急迫を緩
和し、遂んで帝國外交の新畛域を開すべく切念したるも、不
幸にして時の政府當局、殊に内外兩省と意見一致せず、隨つて
予若し長く市長の地位に在らば、國家大局の問題の爲に累を市
民に及ぼすの虞なきを保し難きを惟ひ、専念市民の幸福を希ふ
至情よりして其の職を去りたるものなり。

蓋し我國の自治制は、尙恰も未成年者の如き實情の下に在りて

事務所政事の運営を離つてゐるが、總て「第一義」の實務實務へ
の要請が發せらるゝ事で、總ての事務の運営が、甚だ忙
めの事務の運営の運営の大なる事務をもつて居る事で、甚だ忙
千葉市市政の運営が、甚だ忙めの事務を實務へ、甚だ
未だ實の自治に到達せず、故に市政の運用に關しては、常に監
督官廳との諒解を密にし、微々たる一處僚に對してすら、恭謙
自卑の態度を要とするが如き關係に置かれつゝあるを以て、予
が政府當局と國政上の見解を異にする結果、如何なる障礙を帶
び、市自治體に與ふるやも測り難きを豫見し、之を憂慮したるに由
るものなり。

顧みて之を現時の實情に徵するに、渠に予が市民の幸福を念じて職を辭したる理由は、尙未だ消滅せざるなり。而かも予が市長の地位に在らんか、之が爲に勤もすれば市政の運用に、

意外の支障を生ずる虞あるの事情は、敢て前日と異なる所な
きを如何せん。

國家内外の形勢は固より刻々に變化しつゝありと雖も、國歩益々艱難にして其前途更に一層寒心に堪へざるもの無しといふ能
はず。

苟も國運の硬鑑を解きて危機を未然に防止せんと欲せば、益々
自ら激励して國家大局の疏開に勇往せざるべからず。

是れ予が懇篤なる市會議員諸賢の慾慮あるに拘はらず、予が親
愛する市民の爲に計りて、再び市長たるの光榮を固辭せざるべ
からざる所以なり。

翻つて考ふるに、凡そ立憲帝國の臣民たり、又自治の市民たる
以上は、市政の改善と發達とに力を致すべきは、各自の義務た
ると同時に亦一個の権利なり、實に尊重すべき奉仕的権利なり。
故に予は居常「市民の爲に、市民と共に」進むべく之を標語と
して日夕自ら之に違はざらんことを期しつゝあるのみならず、
實面に復興の大業を擁して、市政の凝滯を見るが如きは、實に
嘆嘆措く能はざる處なり。

卷之三

之を以て市會議員中には、予に對して先づ眼前の紛擾を匡救せんことを切望する人士あり、其の言ふ所を聞けば、多數市民が予の努力を要望するの情切なるを觀ては、儻然之れを看過し能はざるが爲めなりとの意なるが如し。

予は因より二百萬市民と同一家族にして、具体同心の觀念を有するが故に、予と多數市民との間には、常に靈感相通するを信じて疑ふことなし。何ぞ其の市長たると否とに依つて、此の根本義に逕庭あらんや。

子は決して東京市民の期待に背かんと欲するものに非るなり。仍つて思ふ、若し市民にして時局匡救の方法を求めるか、豈其の手段なきを憂へん、意志のある所に道あり、必ずや適當なる方法を見出すに苦しまざる筈なり。

衣類を提出を仰苦の事ある物なり。

の出現がめでたく始くべ、斯うのものが現るゝ事無れど、専ら其の運轉するものゝ間で、斯うの現れづらきの原因なるものが現れるべし。而其

即ち今回新たに組成せられたる帝都復興俱樂部の如き、市會議員との意見交換の便を開き、之に依り各、心胸を披瀝して最善の計

然らば必ず吾等の信頼すべき良市民は、勞せずして出現すべし。

予は信ず、市會議員の全部を不良視するは當らず、否、其の多數

都の不面目を世界に曝すを欲せざるや明らかなり、果して然らば是等の識者、相倚り相助け、協心戮も

期待に翻りべきは理の當然ならずや。

予は此の意味に於て「市民の爲に」全思考を燃らし、「市民と共に」全精力を傾注して、市政の改善に、帝都の復興に努力するに各ならざることを聲明するものなり。

事之而无往不复者也。故曰：「知者不惑，仁者不忧，勇者不惧。」

傳ふるものあり、今や市會問責の聲各區に揚り、或は市民大會の開會を見るをきを保せずと、予は説の眞偽を知らずと雖も、多數の議員中或は其の任實を体せざる人なしといふ能はず、而も予は既往に溯つて其の正邪曲直を批判せんよりも、只專念將來に對して警處せんことを急務とするものなり。

苟くも然らず、依然として舊習に拘泥し、時弊に低迷して、黨派的心態を脱却し得ざるが如きものありとせば、是れ實に昌治体を撹亂するに止まらず、早くも空前の鬱禍を忘れて、恨を干萬年に貢ふものなり。

況んや帝都復興に對する當局官廳の氣分も、亦漸次頗麿の傾向を呈すといふに於てをや。今にして尙覺醒せざるものは、其名は市民にして、其の實は市民の賊なり。

急務とするもの
確信

卷之三

風の穏やかで、
今がつんと寒暖をめぐむの夜、枕元で炬燵をつと、城の裏垣に

其時之謂也。故曰：「知其然，不知其所以然。」

高學記實卷之三

若し之れをしも黙過すべくんは、世に公憤なく、市民に道義心なしといはざるべからず。

時は今なり。

子孫の爲に大都市計畫實現の時なり。されば何等檢束なき自由の手を以て、廣く且大なる力を以て國內に都會の建設を教へ、世界に都會の模範を示さんとする最好の時なり。

東京市民は震災後の光景を見て、何人も時は今なりの感を抱かざるもの^なきを信じて疑はざるものなり。

信賴する東京市民は茲に過去を反省し、全思考を凝し、全精力を發揮して、協力一致市民の義務を果す事を信じ、謹んで東京市民に敬意を表するものなり。

都民に迷惑を及ぼすものである。

貴様御丁寧、御承り御市長の職務を果す事も論り、前より東京に詰めをも東京市長職務の運営を眞審に、至思慮を深め、且林式のものとおきを論じて謹候なる所である。

東京市長職務の本要を見た、個人を想念せざるの趣を厭むるものとおきを論じて謹候なる所である。

貴様の議會の賛同を蒙る所ある議決の御方よりの書を以て、既に且大なるに及ぶ議員の議案を過ぐ、半期の間の大體事務費の額なり。右外洋開港地東京より自ら算出をさへ。

その他の諸の事務を、御引て當せある所である。

かつて付託した所である。

以上、聊か予が市長辭任の理由を明かにすると同時に、市民諸君の愛市心に期ふるものなり。

處所ノ如レ

寄 贈

後藤新平圖書



如上陳ぶる所専ら自治的自覺の義務に繋る、吾人獨り此目的を達することに力むのみならず、更に進んで太平洋政策に於ける帝國の位置及其使命に貢獻するの一大急務あることを附言し以て市民諸君と共に君國の爲に奮闘をなすの覺悟なかざるべからず。